

熱海市総合計画審議会・熱海市総合戦略会議 第4回会議結果

日 時 : 令和8年2月17日(火) 14時～14時30分

場 所 : 市役所第3庁舎会議室

出席者 : <委員> 石井委員(副会長)、井戸委員、岩瀬委員、小泉委員(会長)、大館委員、佐野委員、田中委員、谷委員、土屋委員、出口委員、西島委員、野中委員、原委員、福島委員、福嶋委員、山田委員(代理出席:山本氏)

(欠席) 中島委員、森田委員

<策定委員> 吉徳副市長、鈴木副市長、三枝市民福祉部長、立見観光建設部長、小坪健康福祉部長、田中公営企業部長、轡田消防長、窪田観光建設部次長、高久危機管理監、高橋会計管理者

<事務局> 小山経営企画部次長・佐藤企画財政課長・後藤企画室長・企画室

配布資料: 資料11 総合計画審議会意見一覧

資料12 答申書(案)

資料13 第五次熱海市総合計画後期基本計画案について(答申別記)(案)

資料14 第三期熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案及び第三期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略案に対する意見書(案)

議事

1. 開会(経営企画部次長)

2. 会長挨拶

それでは皆様本日もよろしくお願ひいたします。

これまで皆様からいろいろなご意見をいただいて審議をして参りましたが、本日で取りまとめということになりますのでよろしくお願ひいたします。

3. 総合計画審議会委員意見に対する市の考え方

【小泉会長】まず、答申の作成にあたりまして、これまで審議会の委員の皆様方からいろいろな意見を頂戴しておりますので、そういった意見の中にはですね、この後期基本計画の文言そのものに直接反映するものと、その具体化の段階で反映するものがあるかと思いますが、意見についての対応状況の概略を事務局から説明をお願いいたします。

○企画財政課長より資料11について説明。

【企画財政課長】資料11をご覧ください。こちらは、これまでの審議会で委員の皆様からいただいたご意見をまとめたものです。この中で、審議会で市の考え方について説明していなかったものや答申案作成にあたり事務局で検討したものを抜粋して説明いたします。なおなかに議会の中でいただいた施策への提言、ご要望につきましても、この一覧にまとめ記録として

残しており、今後の行政運営、施策の立案において参考とさせていただきますが、本日の説明では割愛させていただきますのでご了承ください。

No1 基本構想の人口の推移に関する部分について、田中委員からのご意見で、「人口減少の抑制」を「緩和」としてはいかがかのご意見です。なかなか止められない人口減少の状況を緩やかにスピードダウンさせるという柔らかな表現と思いますが、「人口減少の緩和を目指していく」とすると、読む人によって、「減少を抑える」と捉える方と、「減少を容認する」と捉える方の両方の解釈が発生する可能性、読み手によって紛れが生じる可能性を否定できないと考えられたこと、他の自治体の計画の表現を確認させていただいた中で数量的に抑えていく方向性の表現は「抑制」を採用しているところも多く見受けられましたので、原文のままとさせていただきたいと考えております。

No2 総合計画 23ページの地域福祉の推進の部門について、福島委員からのご意見で、「行政の取組」①「市民活動・地域活動の周知や協力を行う」を「市民活動・地域活動の周知や支援を積極的に行う」としてはいかがかというご意見をいただきましたが、総合計画に記載する「行政の取組」は支援だけでなく時には市も積極的に携わる、また実施することを前提としておりますので、原文のままとさせていただきたいと考えております。

No3 同じく地域福祉の推進の部門の「行政の取組」④の福祉まつりに関する記載を「地域共生社会の形成を推進するため、社会福祉協議会と緊密に連携して、市民生活を支え市民の幸せと喜びを拡充する取組や活動を支援する」としてはいかがかのご意見でした。「福祉まつり」は総合計画に記載するものとしては個別具体的とのご意見もありましたので「福祉まつり」については削除とし、ここでは地域福祉への理解を深めるため、市民が福祉に係る事業者や地域活動を実施する団体と交流する場が必要との認識を持っているところですので、事務局修正案にありますように「地域共生社会の形成を推進するため、社会福祉協議会と連携し、市民と福祉に関する様々な事業者や地域活動主体の交流が図れる場の提供を支援する。」と修正したうえで答申案とさせていただきたいと思っております。

次のページ、No6 総合計画 27ページの障がい者福祉の充実の「行政の取組」市民・地域活動等・事業者に対する支援の①～③についてのご意見です。こちらは、市民職員合同会議で「障がいへの理解や社会的障壁がなくなるための意識醸成として、障がいのある人となない人が交流できる場が必要ではないか」とのご意見で「福祉まつり」を加えた経緯がありましたが、先程と同様に具体的なイベントの名称ですので削除します。ただ「交流」については必要と考えますので、事務局修正案の③にありますように「社会福祉協議会と連携し、障がいのある人となない人の交流や活動が生まれる仕組みづくりを支援する」とし、また順番についても福島委員のご提案のとおり変更したものを答申案とさせていただきたいと思っております。

資料9ページ、No35 総合計画 P77スポーツの推進で、指標の「する・みる・ささえる」いずれかの形でスポーツに親しんでいる市民の割合の目標値90.2%につきましては、静岡県スポーツ推進計画で掲げる目標値を市としても設定しているものです。

No.36 総合計画 82防災体制と地域防災力の向上の部分で、佐野委員から「現状と課題」の「異常気象」という言葉を「気候変動」に置き換えてはいかがかのご意見がありました。こちらはご意見のとおり修正し、答申案としたいと考えております。

資料10ページ、No.38 総合計画 89ページ、持続可能な行財政運営で、「健全な財政運営の維持」に関して、財政的な運営状況を測る指標を入れてはどうかとのご意見をいただきました。財政運営の状況を測る指標として、財政健全化判断比率4指標等が考えられますが、熱海市では現在、国の定める早期健全化基準を大きく下回っており、目標値として掲げるには少し楽をしすぎではないか、それよりも窓口等のDXにより、市民の利便性の向上、職員の働き方改革を進め、人件費の抑制などにつなげていくことを今後5年間の目標とした方が適切ではないかと検討した経緯がありますので現状のままとさせていただきたいと考えております。

No.42 人口ビジョン 5ページの文章の表題の「関係人口との関わり」について「関係人口の創出・拡大による地域経済社会の維持」の方がいいのではないかとのご意見をいただきました。こちらはご意見のとおり修正し、答申案としたいと考えております。

No.43 人口ビジョン 6ページ、総人口の推移の説明に関する表記について、「倍」や「%」で表記が統一されていなかったため、こちらはご意見のとおり修正し、答申案としたいと考えております。

No.44 人口ビジョン 10ページ、母の年齢別出産数の推移について、出生数の減少と出産女性の減少については、出産控えだけではなく、人口の流出要因があると思われるとのご意見をいただきました。田中委員のご指摘いただきました女性の流出については、前段の「②15～49歳女性人口の推移」で30年間の推移で減少していることを示しております。なお、最近の傾向ですと2023年における20代女性の社会移動はほぼ均衡していますが、2012-2023年でみると平均▲54人となっております。減少傾向にあります。「③母の年齢別出生数の推移」では、直近7年の母の年齢別の出生数の推移を表したもので、次ページの1,000人あたりの出生割合と合わせて、女性が出産する年齢が20歳代で減り、30歳代後半で増えている傾向を示している部分です。田中委員の言うとおりに転出によりこの層の女性の絶対数が減っていることは大きな要因ではありますが、それだけでなく見0代、30代前半で出産が停滞する事実が熱海市にはあるということを示しているパートなので、「③母の年齢別出生数の推移」の記載は原文のままとさせていただきたいと考えます。

No.46 人口ビジョン 34ページ、「地域間の増減差の低減化」については、「地域間に増減差があることについてエリアごとに施策の方向性が異なるのであれば、現状として示すのはいかがか。」とのご意見をいただきました。こちらにつきましては、検討段階で、地区別の人口推計も行いましたが、人口が少ない地区や年代において、変化の幅が大きくなり過ぎてしまい、全体推計との整合性がとれない部分がありましたのでエリアごとにお示しするのは控えました。

No.47 総合戦略 3ページ、「戦略の体系」について、少子高齢化、人口減少が進行している中、行政の仕事は住民福祉の向上が第一であるため、安心して暮らし、子育てができる環境をつくっていただくことが一番と思うので、目標の順番を変えてはいかがかとのご意見をいただきました。こちらにつきましては、委員意見のとおり修正し、答申案としたいと考えております。

No.48 総合戦略 佐野委員から「人はよりよい環境求めて出ていき、よりよい環境を求めて入ってくる。熱海も住むにはいいところだと思うが、何の環境が悪くて出ていくのか、戻

ってこないのかという基本に戻った方がよい」とのご意見をいただきました。こちらについては、「基本目標5 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」を「基本目標1 選ばれる地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」に変更し、答申案としたいと考えております。

No.49 総合戦略 小泉会長から「若者の流出は全国的な傾向であるが、出た人が地元に戻って来るか、戻ってきた後の結婚や子育ての段階で、働く場や住まい、子育て環境によって差が出る」とのご意見がありましたので、総合戦略11ページの「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる(3) 生み育てやすい子育て環境の充実」に住まいに関する事業を追加し、答申案としたいと考えております。以上となります。

【小泉会長】それではただいまご説明いただいた関係についてご意見とか何か補足というか、委員の方で申し上げたいことがあればお願いいたします。一番は、委員のおっしゃったことがうまく伝わっているかどうかという問題が時々あるので、おっしゃったことが伝わっている前提になっているかどうかということと、市の対応についての何かご意見やご質問等あればお願いしたいと思います。

<意見、質問なし>

4. 答申案について

○企画財政課長より資料12、13、14について説明。

【企画財政課長】資料12、13をご覧ください。資料12が答申書の鑑文です。総合計画後期基本計画の諮問に対する答申といたしまして、計画全体としては、おおむね妥当とさせていただき、個別事項についての審議会意見を答申の別記として提出したいと考えております。その別記が資料13となります。総合計画につきましては、「地域福祉の推進」、「障がい者福祉の充実」、「防災体制と地域防災力の向上」の3つの項目について、先程説明いたしました内容で答申案を作成いたしております。以上となります。

【小泉会長】先ほど委員意見を踏まえて修正のあったところについては、別記という形、新旧対照で添付させていただきまして、先ほど説明があったように委員からいただいた意見についてはこういった形で資料11の一覧ということで、関係部局の方もお見えなのでまた施策の中でも反映いただくようご検討いただくということになると思いますが、この資料12、13のこの答申の案につきまして何かご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

<意見、質問なし>

【小泉会長】それではまず答申の方はそういう形で進めさせていただきますが、字句等の軽微な修正がある場合は事務局の方から私に相談いただきまして、軽微な修正はご一任をいただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

<異議なし>

【小泉会長】ありがとうございます。それでは次に人口ビジョン及び総合戦略の意見書になりますが、そちらについて資料14の説明をお願いいたします。

○企画財政課長より資料14について説明。

【企画財政課長】資料14をお願いいたします。人口ビジョン、総合戦略への意見書といたしまして、総合計画と同様に、先ほど説明をいたしました内容で意見書の案を作成いたしました。人口ビジョンについては文言の修正を2点、総合戦略案については、戦略の体系の順番と一部表記の修正と、産み育てやすい子育て環境の充実に住宅政策に関することを追加しております。以上となります。

【小泉会長】ありがとうございました。これも先ほど委員意見の対応でご説明いただいた関係で修正したところについては、この意見書の方に出ささせていただくということでございますが、この関係について何かご意見、ご質問ありましたらお願いいたします。

<意見、質問なし>

【小泉会長】よろしいでしょうか。それではこの人口ビジョンの方も同様にさせていただきます。また字句等の微修正の関係は、恐縮ですが私の方にご一任をいただきたいと思います。

それでは本題の総合計画後期基本計画と、人口ビジョン、総合戦略は、これで審議会としての答申はまとまったということでございますので、以上で審議の方は終了させていただきたいと思います。今後ですね、この審議を元に微修正等があった場合は、修正させていただきまして、私と石井副会長の方で最終的な調整をして、審議会を代表いたしまして、2月中に市長に私と石井副会長でお伺いしまして答申書を市長にお渡しするような段取りとしたいと思います。

締める前に今日は校長会の代理で山本様お見えなので、せっかくなので一言お願いできますか。

【山本氏】皆さんこんにちは。今日この会議に参加させていただきましてありがとうございます。熱海市の総合計画審議会と総合戦略会議ということで、どんなことをやるのかなというところで、興味を持ちながら話を聞かせていただきました。今後、熱海市がどんなふうにやっていくのかというところを勉強させていただきましたので、また今後に役立てたいなと思っております。今日はありがとうございました。

【小泉会長】ありがとうございました。計画はこれから進めるのが大事でございまして、そういった意味ではどうやっていくかということでまた皆さんお力添えというか、総合計画は市の行政だけで進めるものではありませんので、今日お集まりの皆様と認識を共有していただきまして、一緒になって進めていくということができればと思っております。最後に副会長から一言お願いしたいと思います。

【石井副会長】大変ご苦勞様でした。やはり計画は計画であって、それをさらに市民の中にどう下ろしていくかというのは一番大きい問題ではないかと思ひます。その方向について、それから具体策について、これから私たちはこういう審議会で検討した具体的な 1 つの方向に対してどういうふうにそれを市民に、そして熱海市全体の活力に繋がるものとしていくか、また見守っていきたいし、期待したいと思ひます。以上です。

5. 吉徳副市長挨拶

【吉徳副市長】皆様こんにちは。副市長の吉徳でございます。本日は委員の皆様におかれましては、本当にご多忙のところ、またこれまで1ヶ月間という非常にタイトな中でご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。後期基本計画、総合戦略はそれぞれ5ヵ年の目標を設定するところでございます。目標値の設定につきましては、市民職員合同会議や当総合計画審議会において市民の皆様と検討し、設定したものでございますので、目標値の達成に向けてしっかりと施策を講じてまいりたいとこのように考えております。また一方、行政だけではこの目標を達成することはかなわないところであります。市民の皆様、経済産業界、行政が一体になってまちづくりを進めていく必要があると考えております。引き続き、熱海の将来都市像に向けて市政の推進にご協力をお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

6. 会長挨拶

【小泉会長】先ほど申し上げた通りでございます。総合計画というのは本当にこうやって市民の皆さんといろいろな議論をしながらやっていくということで、この実施についても行政は担当課がそれぞれあるんですが、担当課の事業だけで成果が出るというわけではなくて、まさに本日お集まりの皆様や、またいろいろな関係の皆様と一体となって、協働して進めていくということでございます。そういった点でぜひお力添えいただければと思ひます。また、実は総合計画は施策をある程度整理して、目標、目指す姿や現状課題を整理してデータを整理して、協働の取組や行政の取組を書いてはいるんですが、これをどう具体的に、この書いてあることをさらにブレイクダウンして具体化していくかというところは実は知恵が必要でありますし、いろいろな関係の、場合によっては市の外の力も借りながら、官民一体で取組という、この実施に向けた次の段階でぜひまた皆様のお知恵をお出しいただければ大変ありがたいと思ひます。以上でございます。

7. 閉会